

令和2年1月7日

始業式

今日から3学期が始まります。みなさんの冬休みはどうだったでしょうか。2学期の終業式には、「日付」のある夢、「目標」を持って努力を続けようというお話をしました。みなさんは、自分の目標を持ちましたか。

今日は、小惑星探査機の「はやぶさ」の話をします。「はやぶさ」は、2003年に鹿児島県の宇宙観測所から打ち上げられ「イトカワ」という惑星を探査して7年をかけて地球に帰ってきました。その間、8回以上の故障やハプニングによって、エンジンが止まったり、通信ができなくなったりして宇宙のチリになる危機を乗り越えて地球に帰ってきました。そのピンチの中、プロジェクトのリーダー川口淳一郎(かわぐち じゅんいちろう)さんは、決してあきらめることなく自分の経験や知識から様々なことに挑戦し、危機を回避していきます。中でも、通信が途絶えた最大のピンチの時には、みんながあきらめそうになった中で、「はやぶさ」は、きっと回転しているに違いない。だとすれば、地球から電波を受けることのできる瞬間があるはずだと思い、「はやぶさ」のいそうな場所を推測し、時間と周波数を変えて電波を送り続けます。そして、47日目に、「はやぶさ」からの返事を受け取ることに成功し、地球に帰ってくる事ができたのです。

何事にも、成功の陰には、たくさんの人たちの努力と苦労があります。

さあ、みなさんも学年をしめくくり、新しい学年や進路に向けて今こそ努力を続けるときだと思えます。その努力は、成功に結びつかなかったとしても、必ずどこかで役に立つはずです。3学期は、みんなの頑張る姿がいろんなところで輝く学期にしていましょ。